



「終活」を考える ～高齢者のおたすけの一助に～

現在、日本は超高齢社会から多死社会の時代を迎えています。教内にも、身寄りのない人や困難を抱えている人の最期をお世話取りされている方が多くおられます。

命の危険が差し迫るとき、7割の方は意思伝達ができないと言われているように、十分な準備ができないままに出直す方も大勢おられます。

この講座では、おたすけの一助として「終活」を取り上げ、今世の最期を迎えるための話し合いや、準備しておくことの重要性、お世話取りやおたすけに関わる上での留意点について、福祉、司法、医療、おたすけの現場で活躍されている講師から学び、教会・ようぼくとして何ができるのかを考えていきます。

期 間：立教 186（令和 5）年 5 月 26 日（金）～27 日（土）

会 場：おやさとやかた南右第 2 棟 3 階

日 程：裏面参照

対 象：ようぼく

定 員：40 名

受講御供：2,000 円

携 行 品：筆記具

締 切 日：5 月 15 日（月）

※定員になり次第、受付を終了しますので予めご了承ください。

下記の申込事項を明記の上、ひのきしんスクール事務局までお申し込みください。

申込事項

- | | |
|----------|-----------|
| ①受講希望講座名 | ⑤生年月日 |
| ②氏名/ふりがな | ⑥性別 |
| ③〒/住所 | ⑦直属・所属教会名 |
| ④電話番号 | ⑧教内立場 |

申込方法

- ・Eメール ・ホームページ
 - ・FAX ・郵送<はがき・封書>
- ※電話での申し込みはお断りしています。

お申し込みくださった方には、締め切り翌日以降に「ご案内（開催日程・会場図など）」をお送りします。

ひのきしんスクール事務局

〒632-8501 天理市三島町 1-1
 TEL 0743-63-2314 FAX 0743-63-7266
 Eメール h-sc@tenrikyo.jp

ひのきしんスクール QRコード▶



<https://fukyo.tenrikyo.or.jp/h-sc/>

日程表

1日目 (26日)		2日目 (27日)	
13:00	受付	8:50	集合
20	開講・オリエンテーション	9:00	講義③「地域医療と『終活』」 佐々木 貫太郎 氏
30	「ひのきしんとは」 井筒 悟 (ひのきしんスクール運営委員)	10:00	休憩
50	休憩	10:10	講義④「ある高齢者のおたすけと 出直しを通して・・・」 白熊 繁一 氏
14:00	講義①「高齢者福祉の現場から －エンディングノートの作成－」 中村 靖男 氏	11:10	休憩
15:00	休憩	11:30	質疑応答 【回答者】 山崎 栄喜 氏 (登壇順) 佐々木 貫太郎 氏 白熊 繁一 氏 【司会・回答者】 中村 靖男 氏
10	講義②「『終活』と法律知識」 山崎 栄喜 氏	12:50	閉講
16:10	解散		

講師紹介 (登壇順)

中村 靖男 氏	<small>すがも</small> 巣鴨分教会長、ひのきしんスクール運営委員。社会福祉士。地域包括支援センター長として高齢者支援に関わる一方、成年後見人として身寄りのない認知症高齢者を支援している。
山崎 栄喜 氏	<small>みなみほんごう</small> 南本郷分教会長、ひのきしんスクール運営委員。弁護士資格を有し、教内の事情の相談を受け、解決に向けてのおたすけに携わっている。
佐々木 貫太郎 氏	なら家庭医療クリニック医院長。救急科専門医、家庭医療専門医。
白熊 繁一 氏	<small>なかせんじゅう</small> 中千住分教会前会長、ひのきしんスクール運営委員。専門里親、保護司の立場のほかに『さんさい』に詩とエッセイを連載中。